

# CHUO ROKIN *Recruit*

 ろうきん  
中央労働金庫

はたらく人に  
寄り添い、  
はたらく人の  
夢を形に。

## 私たち採用担当は 皆さんの就活サポーターです!!

就職活動は自分の「幸せ」を実現できる企業を見つけることが大切だと私は考えています。私は中央ろうきんで働くことができ幸せです。では、どのようにして見つけるか。自分で調べることも大事ですが、自分で調べた情報からはたらくイメージを得るには限界があ

ります。だから実際に働いている人や採用担当者を存分に頼っていただきたいです。嘘偽りなく、良いことも悪いことも丁寧にお伝えします。皆さんの就職活動のサポーターとしてお待ちしております。実りある就職活動になりますよう、応援しています!一緒に頑張りましょう!

総務人事部

武田 聡一郎

2020年入庫



はたらく人に  
寄り添い、  
はたらく人の  
夢を形に。

### 就活は自分を見つめ直す、 最高の機会です。

皆さんが将来どのような人生を歩んでいきたいのか、どのような夢や目標を持っているのか。その想いが私たちの組織の方向性と合致することで、一緒に歩んでいくことができます。就職活動が進むほど、悩みや迷いが生じると思います。私たちはそう

いった悩みや迷いを解決し、納得のいく就職活動ができるようにサポートすることを心がけています。多くの企業・人との出会いや就職活動を通して、自分に合った企業を見つけてください。その企業の中に中央ろうきんがあれば大変嬉しく思います。

総務人事部

石川 萌々子

2018年入庫



## 中央ろうきんについて

### はたらく人のための 福祉金融機関。

日本で唯一の福祉金融機関・労働金庫は全国に13あり、その中で私たち中央ろうきんは、首都圏を中心とする関東1都7県を事業エリアとしています。扱っている商品やサービスは他の金融機関とほぼ同じですが、非営利が原則という大きな違い

があります。労働組合や生活協同組合など働く仲間からお預かりした資金は、働く仲間の生活や未来を豊かにするために役立てられています。そのためご融資先の99%が個人のお客様です。

### 変化に対応しつつも、 ろうきんであり続ける。

コロナ禍を経た社会の変化や技術革新などを背景に、国内の金融機関は大きな変革期を迎えています。ろうきんも例外ではありません。サービスのデジタル化はもちろんのこと、老後を含めたはたらく人のライフプランの実現や地域社会の課題解決など、時代の

変化を見据えた取り組みを進めているところです。また、自然災害の頻発・激甚化や少子高齢化の急速な進行など、社会全体に目を向けるとさまざまな課題があります。福祉金融機関である私たちが果たすべき役割は今後ますます大きくなっていくことでしょう。

# ABOUT CHUO ROKIN





さまざまな分野の  
スペシャリストが力を合わせ、  
お客様を支えるチーム中央ろうきん

## 01 事務部門

前方事務(店頭窓口)と後方事務に分かれており、店頭窓口は預金の受け入れや振込み手続き、資産運用相談・提案等を行います。後方事務は渉外担当者が訪問先でお客様からお預かりした伝票や書類の手続き等を担当しています。



## 02 融資部門

有担保・無担保ローンなどの各種融資商品について、来店されたお客様の融資相談から申込受付、審査、融資金のお振込みまでを一貫して行い、融資後のアフターフォロー等を務めます。渉外担当者が訪問先で受付をした融資案件の審査・実行も業務です。

## 03 渉外部門

会員である労働組合の事務所や個人のお客様の職場を訪問し、ローンをはじめとする融資に関する相談を受けたり、資産形成の商品を提案したりするほか、生活向上に役立つ金融セミナーを実施したりしています。



## 04 IT戦略部

IT戦略部はIT企画、開発、情報システム、システム運用の4つのセクションに分かれています。ITを活用した業務効率化および情報セキュリティに関する企画・立案のほか、システムの開発や運用・管理等を行っています。



## 05 業務部

業務企画、業務管理、運用、預かり資産管理、営業店指導の5つのセクションに分かれており、規程・業務手順・要領の改正、営業店で取扱う業務システムの管理・運用、営業店事務効率化対策等の営業店のサポートを担っています。



現在は窓口に来店されたお客様の対応を中心にしています。やりがいを感じるのは、やはりお客様から感謝していただけることです。対面で嬉しい言葉をかけてくださったり、郵送でやり取りしている方は封筒にお礼の手紙を同封してくださったり——すべてがモチベーションにつながっています。



「ありがとう」が私の原動力



融資はお客様の夢を叶える、未来を守る仕事



現在は融資部門に所属しており、有担保ローンにかかる業務を担当しています。具体的には、不動産仲介業者を定期的に訪問して関係を構築したり、お客様から住宅ローンの借換の相談を受けたり、審査をスムーズに進められるように、サポートなどを行っています。そのほか資産査定や返済条件の変更も担当業務です。



初めて金融商品の受付を担当したときのことです。慣れない手続きに時間がかかり、申し訳ない気持ちでいっぱいだったのですが、お客様から「最初はみんなそうだから、気にしないで」と声をかけていただいたんです。あのときは本当に救われましたし、より一層「もっと成長しないと」と気が引き締まったことを覚えています。

事務部門  
**相川 梨緒**  
2022年入庫

さらに詳しく▶



融資部門  
**森田 正和**  
2018年入庫



◀ さらに詳しく



審査申込書の内容によっては融資が難しいケースがあるのは確かです。しかし、私は書面だけで判断をせず、お客様から事情や想いを伺い、ときには家族にも相談していない悩みを打ち明けていただいたりして、どうか融資できる道筋はないか模索します。その結果、無事に融資できたときの達成感と、お客様のホッとした表情と嬉しそうな笑顔。それが融資担当の醍醐味です。



# 03

私は労働組合や個人のお客様の職場を訪問し、金融に関する相談を受けたり、提案活動やセミナーを行ったりしています。生涯にわたる積み立ての提案やローン借換の案内を通じて、お客様の資産形成、家計改善のお手伝いができることにやりがいを感じています。



大切なのは  
お客様に寄り添い、  
共に悩み、  
共に考えること



職員のための  
行動が、お客様満足度  
upにつながる!



私が担当している業務は、預金・現金関連の要領規程の改正やカード盗難・詐欺被害の対応、営業店向けの研修などです。さまざまな業務を通して、最前線でお客様と接する営業店をサポートする側面が強いポジションです。お客様と直接接する機会は少ないですが、仕事の先にお客様がいることを意識して業務に取り組んでいます。



心がけているのは、提案が私の独りよがりにならないことです。結果を求める気持ちは抑えて、まずはお客様の悩みや不安を取り除くこと。そのために相手の立場に立つことを意識しています。行き詰ったとき、私が指針としているのは、「はたらく人のためにはたらく」というろうきんの理念です。

業務部／業務管理部門  
**熊倉夏海**  
2020年入庫



◀ さらに詳しく



渉外部門  
**小柳奏汰**  
2020年入庫

さらに詳しく▶



営業店から問い合わせが多い業務の疑問を解消するため、研修資料と解説動画を作成したときのこと。納得がいくまで資料・動画を何度も修正しました。無事に動画の配信を終え、営業店から「分かりやすかった!」と数多くの感謝の言葉をいただいたときの達成感は強く印象に残っています。



# 04



一般職

板垣如乃

2019年入庫

主任

黒田 瞳

2011年入庫



## キャリアもプライベートも大切にできる、中央ろうきんの働き方。

#職場の雰囲気 #同期との関係 #プライベート #ノー残業デー  
#時短勤務 #子育ての支援 #女性管理職 #キャリア

Cross Talk

黒田:板垣さんが所属している支店の職場の雰囲気はどんな感じ?私がいる支店は月並みな表現だけど、和気あいあいとしているかな。気さくな職員の方々が多いため誰とでも話しやすいし、質問すると上長たちは忙しい日だったとしても手を止めて相談に乗ってくれる。

板垣:協力的な方が多いのは同じですね。今の支店だけでなく、私が過去に所属していたすべての支店で同じことが言えます。上長はもちろん、私は支店長にもよく直接相談しています。多くの支店で男女比のバランスが約5:5という点も、女性の働きやすさにつながっているかもしれませんね。

黒田:同期との関係はどう?私は異動すると、その支店に高い確率で同期がいたから、とても馴染みやすかった記憶がある。

板垣:同期とは毎日連絡を取り合っています。

す。先月も一緒に食事に行きました。何かあったら最初に相談する存在ですね。黒田さんはお子さんがいらっしゃるじゃないですか?仕事と子育ての両立はできていますか?

黒田:今は時短勤務を利用して、16:20に退社させてもらっています。そこから息子のお迎えに行って、家族と一緒に夕飯を食べてお風呂に入って、寝る、そんな生活スタイルかな。最近は家事を手伝ってくれることもあるので、助かっています。そういった子どもの成長を見届けられるのも、子育てを支援する制度が整っていることと、育児に理解のある職員の方々のおかげです。

板垣:出産後に職場復帰している方が非常に多いですね。ロールモデルとなる先輩がたくさんいるため、私自身もライフイベントを経てから、どんなキャリアを描けるのか

想像しやすいです。

黒田:子どもが急な発熱で病院に連れていかないといけないときも、休みにしてくれたり、午前半休を取らせてくれたりと、バックアップが手厚いのでとても助かっています。板垣さんは仕事とプライベートの両立を図られている?

板垣:渉外は夕方以降にお客様対応をすることもありますが、アポの日程に関しては自分で調整をつけることができるので、どうしても早く帰りたい日は夕方以降にアポを入れないこともできます。毎週水曜日と第二金曜日がノー残業デーなので、その日は定時に退社して職場のメンバーや友人とご飯をしたり、趣味の岩盤浴に行ったりリフレッシュしたりしています。あと有休を月1~2回のペースで取得しています。

黒田:分かる。有休取りやすいよね。じゃあ最後に、今後思い描いているキャリアについてお伺いします。いかがですか?

板垣:そうですね。今の仕事にやりがいを感じているので、業務経験を増やしながら、もっとお客様のお役に立てる渉外担当になりたいです。加えて、当庫は女性支店長も増えてきているじゃないですか?そういう支店をマネジメントするポジションにも興味があります。

黒田:確かに女性管理職が増えてきたよね。私はしばらくは時短勤務を続ける予定です。現状、主任職を任せてもらっていますが、これから監督職になるかどうか、それとも家庭に無理のないペースで働くか。中央ろうきんは働き方の希望を聞いてくれるので、家族の状況に応じてこれからのことを決めていきたいと考えています。

# キャリアを重ねてきたことで 得たスキルと、 気づいた中央ろうきんの魅力

#支店長 #次長 #達成感 #広がる人脈

#若手の挑戦に寛容 #マネジメントの心得 #部下とのコミュニケーション

Cross Talk

谷川:久保さんとはお互いが営業統括部に所属していた頃に一緒に仕事をしましたよね。

久保:確か2008年だったよね。今でも思い出すよ、あの密度の濃い1年を(笑)。どこの金融機関よりも住宅ローンの金利を低く設定したんだよね。

谷川:金利の施策を担当していたのが私で、宣伝を担当していたのが久保さんでしたね。

久保:ポスターやチラシの制作、100万通以上のダイレクトメール、テレビCM…いろんな手法でPRした記憶があるなあ。

谷川:当時は大変でしたけど、プロジェクトが終わったときの達成感は強く印象に残っています。久保さんのキャリアは支店勤務が長いですが、中でも本部(営業統括部)に在籍していた頃の経験が生きていることってありますか？

久保:一番は人脈。営業統括部はもちろん、総務人事部、総合企画部、審査部など、他部署と協働することが多かったから、自然と人脈が広がっていった。そこで培った人間関係は自分にとっての財産になっている。「この件はあの人に聞けばいい」とかすぐに分かるし、谷川さん含めてあとき苦勞を共にしたメンバーとは今でも交流が続いています。谷川さんはこれまでのキャリアを振り返って、何か思うことはある？

谷川:いろいろチャレンジさせてもらえたなあと思います。営業統括部の頃もそうですし、総合企画部の調査役だったときは本店ビル新館の建設計画の立案、総務人事部に移ってからは職員の能力開発体系をゼロから策定しました。当庫は、若いうちからどんどん挑戦させてくれる、多少の失敗には目を瞑る、寛容な組織ですよ。お互いキャリアを積んで、久保さんは支店長、私は次長ですけど、部下と接

するうえで心がけていることはありますか？

久保:私が支店長を務めている支店は40人くらい在籍しているんですが、40人もいるとどうしても部門間で壁が生まれてしまいます。そういう垣根をなくすために、各部門のメンバーを集めて小集団活動を行ったり、若手が中堅の渉外活動に同行したりする機会を設けています。縦と横のつながりをつくることで、支店全体の風通しが良くなりますよね。私も普段から一人ひとりとコミュニケーションを取るように努めています。

谷川:私は相手の立場を尊重して会話するように心がけています。一方的に自己主張するのではなく、違う考えがあって当然という意識で接しています。また管理職は状況によってポジションパワーが出てしまうことがありますよね。だからこそ、コミュニケーションを取るときは、そういう立場を抜きにして、忖度も不要!年齢や役職関係なく、みんなで意見を出し合うことを大切にしています。

久保:誰とでも気兼ねなく話せる環境があることで、良好な人間関係ができますよね。それが一丸となって同じ方向に進んでいくチームをつくるために重要な要素のような気がします。谷川:久保支店長が指揮を執る支店が好成績を収めている理由が分かった気がしました(笑)。最後にこのパンフレットを読んでくださっている方にメッセージをお願いしてもいいですか？

久保:ろうきんの理念は「働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関」です。この理念に沿って仕事ができることに私はやりがいを感じています。「今日も良い仕事をした!」という実感を日々味わいたい方がいましたら、是非とも当庫の門を叩いてください!



総合企画部 / 次長

谷川 雅 和

2001年入庫

支店長

久保 卓 哉

2004年入庫



# ろうきんの職員も「はたらく人」。 「はたらく人のための金融機関」として、 福利厚生の実践に取り組んでいます!



## #R-DAY (全職場一斉定時退勤日)

働き方改革はもちろん、節電対策によるCO2削減を通じたCSRを果たすため、月に6回、ノー残業デーとしています。



## #10分タイムマネジメント活動

仕事の内容や時間の使い方を見直し、残業を10分短縮することでワークライフバランスの実践を図っていく取り組みです。



## #仕事とプライベートの両立

完全週休2日制で、年間休日は125日以上。有給休暇の平均取得日数は16.1日あり、年1回は5営業日連続で有休を取得するように、制度化されています。



## #健康経営

メンタルヘルスケア・ストレスチェックの実施、職員の健康維持・推進が評価され、経済産業省より「健康経営優良法人」の認定を受けています。



## #プラチナくるみん (厚生労働省認定)

妊娠中の通勤負担緩和をはじめ、産前産後休暇や育児休職、時短勤務、子の看護休暇など、仕事と子育ての両立支援を整備しています。



## #えるぼし (厚生労働省認定)

女性の管理職への積極的な登用をはじめ、キャリア開発研修や職場環境の整備など、誰もが長く活躍できる職場づくりを行っています。

## ▶ 会社概要

設立 1952年4月25日(2001年4月1日合併)  
事業エリア 関東エリアの1都7県全域(茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨)  
本店所在地 東京都千代田区神田駿河台2-5

## ▶ お問い合わせ

東京都千代田区神田駿河台2-5  
担当/総務人事部 採用担当チーム  
TEL/03-3293-1637  
E-mail/saiyou@chuo-rokin.or.jp

## ▶ 採用HP

<https://chuo.rokin-recruit.com/>

